

# ひとりから

子ども会情報紙『ひとりから』

発行日/2019年7月1日

発行/真宗大谷派(東本願寺) 青少幼年センター  
〒600-8164 京都市下京区藤訪町通六条下る上柳町199  
TEL: 075-354-3440 FAX: 075-351-9599  
E-mail: oyc@higashihonganji.or.jp

2000年夏の  
蓮生寺土曜学校



## ほっとできる場所

青少幼年スタッフ 若林 朋子 わかばしともこ

流しそうめんに地蔵盆、お泊りのキャンプなど、夏前になると楽しい行事がたくさん待っていて、楽しみだったのを今でも覚えていています。

わたしは子どもの頃、月に2回の土曜学校(お寺の子ども会)に行っていました。大学生のお兄さんお姉さんが来てくれて、おまじりをして、いつも楽しく遊んでいました。

普段の土曜学校は特別な事をしていっているのではなく、おしゃべりしたりゲームをしたりしているだけです。ひとりで帰っても誰かが来ていて、一緒に遊べる場所でした。

そして何より、ごえんさんとおばちゃんがいるので、家でも学校でもない場所は、ほっと一息をつける何でも話せる場所であったと今になると思います。

お寺に行くという事は特別な事ではなくて、日常生活のひとつだったと思います。そして大人になった今でもお寺はそのような場所でありました。

### 蓮ちゃん通信 その1

## 夏休みは 東本願寺に 泊まろう!



夏休み期間中、「同朋ジュニア大会」や「真宗本願寺子ども奉仕団」、「真宗本願寺中学生・高校生奉仕団」が開催されます。

**みんなで、東本願寺に泊まろう!!**

詳しくは、

# いつもわたしのそばに

仙台教区 金 暁子



みなさんは毎週日曜の朝は何をしていますか？私は娘たちと一緒にテレビでプリキュアを見ています。プリキュアとは、中学生の女の子たちがプリキュアという戦士に変身して地球征服をもくろむ悪の組織と戦いながら、成長していく姿を描いたアニメシリーズです。毎年新しいテーマで放送されていますが、昨年の「HUGっとプリキュア」は私が想像していたものと少し違いました。正義を振りかざし、戦って敵を排除するのではなく、相手に耳を傾け、寄り添おうとする姿が描かれていたことに驚きました。1年の放送の中で、

敵味方関係なく色々な人がそれぞれに苦しみ、挫折し、そこから立ち上がったいく物語がたくさんありましたが、苦しみの中にいる人が再発する時はいつも誰か周りの人が「あなたが好き」と、そばにいたいということが感動的でした。

新美南吉さんの『でんでんむしのかなしみ』という童話があります。上皇後の美智子さまが子どもの頃に出会われ、ずっと大切にされている本として紹介されています。ある時、でんでんむしは自分の背中の殻につまった悲しみの大きさに気がつき、「もう生きていけない」と嘆きます。お友だちのでんでんむしにその話をすると、「自分もそうだ」と言います。他のお友だちもそうでした。そして、でんでんむしは悲しみを背負っているのは自分だけではないと気がつき、自分も自分の悲しみを引き受けて生きていこうとするという内容です。

どんなに幸せそうに見える人にも、悲しみ・苦しみはあります。たとえ同じ経験をして、感じ方はいろいろで、悲しいと思う人もいれば、気にならな

## 子どもたちと聞く法話

い人もいるでしょう。私たちの悲しみ・苦しみは縁によって大きくなったり小さくなったりします。たとえ順調に生きているようでも、なんとなく不安になることや、ふとした空しさを感じることはないでしょうか。

ほとけさまは「私の名前を呼んでください」と私たちにいつでも呼びかけてくれています。私たちが「なんまんだぶつ」と念仏したら、そばで寄り添ってくれる親友になれるのです。親鸞聖人が書かれたご和讃にこのようなものがあります。

他力の信心つるひとを

うやまいおおきによろこば

すなわちわが親友ぞと

教主世尊はほめたもつ

(正像末和讃)

「お念仏で私の名前を呼んでくれたら、もう親友だよ」とおっしゃっています。親友だから私たちが悲しい時はほとけさまも一緒に悲しんで、嬉しい時は一緒に喜んでくれるのです。どんな時も、「なんまんだぶつ」と呼んだら、そこにお浄土の世界が広がっているのです。その世界にふれたら、私は「もう一人ほったじゃない」と、そのままの私を引き受けていけそうな気がします。私が幼かった頃、私の祖母はいつでもどこでも「なんまんだぶ

まんだぶ」とよく称えていました。布団やお風呂やトイレの中からでも祖母のお念仏の音がしていたものです。いつでも、どこでも、一人でも、誰やでも、ほとけさまをおもって「なんまんだぶつ」と称えたらお念仏になります。

今日は最後に、ここに集まったみんなと一緒に声に出してお念仏しましょう。

### 連ちゃん通信 その②

## NEW 東本願寺キャラクターの子ども会出席カード

東本願寺キャラクターの出席カードが誕生しました。これからの夏休みシーズン、お寺の子ども会などでぜひご活用ください。カードは青少幼年センターのホームページからプリントアウトしてご利用ください。

詳しくは、





# 「ひとりから」はじめる仏事

子どもたちに  
伝えてみませんか？

※大正時代、本山社会課から『児童と宗教』という児童教化の指導者のための雑誌が発刊されていました。そこには、先輩方が遺してくださった遺産がたくさん。このコーナーでは、そこに連載されていた「教案」から、私たちの生活の中の仏事に関するものをサガエさんがリライトしてお届けします!!

※本山社会課…社会と寺院をつなぐべく初めて派内に設置された宗務組織。宗派の青少年教化を担っていた。

## ぶっ ばん お仏飯

### 「いのち」をつなぐ

お寺やお家のお内仏では、お朝事あさじのあとに、お仏飯をお備えそなします。お仏飯は「いのち」をつなぐ源ですから、まずは、み仏様にお仏飯をお備えします。ここを、はじまりにしましょう。はじまりとおわりは大切です。

### 食前と食後の言葉に込められた意味

#### 食前の言葉

ひかり  
み光のもと われ今さいわいに  
この浄き食きよ しよくをうく  
いただきます

#### 食後の言葉

われ今 この浄き食きよ しよくをおわりて  
こころ豊かに 力身ちからみにみつ  
ごちそうさまでした

食前と食後の言葉の「浄き食きよ しよく」は、「いのち」をいただくことで「いのち」をつなぐことの意味が込められています。また、食前には、「幸しよくい」に食をいただけるありがたさが謳うたわれています。そして、食後にも「浄き食きよ しよく」をいただいて、「いのち」をつなぐことができた感謝を述べることでおわります。

出典：幡谷淳信「三月教案」供養  
『児童と宗教』3巻3号より、一部抜粋、現代語訳  
リライト：“サガエさん”こと佐賀枝夏文

ボクはこんな風に話してみました



さがえ なつふみ  
佐賀枝 夏文  
(大谷大学名誉教授)

お内仏には「お仏飯」をお供えしてあるけど、その意味を知っているかい。そのたいせつな意味を知るといいとおもう。たいせつな一日は「お仏飯」から、はじまるんだ。そして「いのち」について考えるといいね。毎食に「食前の言葉」と終わってからの「食後の言葉」を唱和するようにするといいね。その意味も、すてきなんだ。

## コーナーの活用例

- ① 本文「お仏飯」をそのまま覚えて話す。  
または、ご自身の表現で話す。
- ② プリントして配布し、朗読する。  
上記以外にもその場に合わせてご活用ください!

本文のPDF データは、青少年センターホームページ  
「子どもとあそぼう」のコーナーからダウンロードいただけます。

◎今号のイベントレシピは「仏教讃歌」を紹介しました。法話はまた難しいな...と思っ  
ている方におすすりめです。歌詞やメロディー  
を通して、いつでも、どこでも仏さまの世  
界に触れることができます。みんなで口ず  
さめる一曲を見つけて、子ども会のテーマ  
ソングにするのもいいですね。  
(編集長 池崎方子)

◎お寺はどんな場所でしょうか？巻頭言の  
タイトルには「ほっとできる場所」とあり  
ました。年齢・性別などを問わずみんなが  
ほっとできる場所、そしてそのお寺に身を  
おく私たち自身もその人たちとほっとでき  
るようなお寺っていいなと巻頭言を読んで  
感じました。みなさんにとってのお寺は  
どんな場所でしょうか？  
(書写幹事 山崎裕大)

編  
集  
後  
記



真宗大谷派の青少年教化の情報をお届けします。

<https://www.facebook.com/oyc.hitorikara/>

※facebookの個人アカウントをお持ちでなくてもご覧いただけます。

●真宗大谷派(東本願寺)青少年センター TEL.075-354-3440

青少年センターホームページ

東本願寺 青少年センター

検索

ぜひ、ご覧ください!!